



### 湿原散歩

節分が過ぎた頃から陽射しも徐々に強くなり始め、近くの林からシジュウカラやハシブトガラなどの囀りが聞こえる。例年除雪をしながらその声を聞くことがあるが、今年は今のところ雪も少なく、一部地面が顔を出している状態。2月だというのに4月上旬の気温で、霞む塘路湖の岸辺の水も目立つ。そんな湖上でキタキツネの姿を見かけた。走り回ったり、戯れたり、まるで2人（匹）だけの世界。近くにヒトがいても気にもせず、眩い光に包まれた湖上でキタキツネの恋の駆け引きが続いていた。



## 塘路フィールドノート【1/15～2/14】

### 【野鳥】

今年の冬はここ数年とは少し野鳥の動きが違うように感じます。特にアトリ科の野鳥は、昨年比べて確認種数・確認頻度・個体数ともが多くなっています。今年の冬の記録的な少雪が影響しているのかもしれませんが。



**タンチョウ (コッタロ湿原展望台)**  
眼下に見えた仲睦まじい親子(左端が幼鳥)の姿。もうじき子別れの時期がやってきます



**カワセミ (塘路湖畔)**  
今年もいました真冬のカワセミ。湖岸にわずかに残った開水面で餌を探っていました



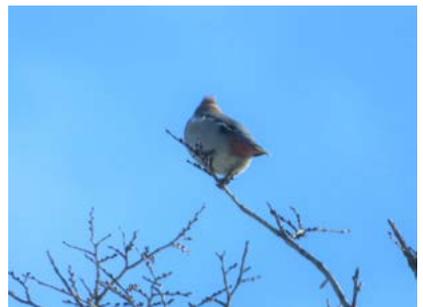
**ホオジロガモ (コッタロ湿原)**  
釧路川で見かけた♂の幼鳥。顔には名前の由来である白い頬が見え始めています



**マヒワ (コッタロ湿原)**  
道路端で黄色い一団がうごめいていました。今年はマヒワの当たり年のようです。



**キクイタダキ (塘路湖畔)**  
葉陰に出たり入ったりで、ようやく姿を見せてくれたところ。今冬の初確認でした



**キレンジャク (塘路湖畔)**  
塘路湖畔での確認はかなり稀。カメラを向けた瞬間、颯爽と飛び去って行きました

## 【動物】

エゾリスやエゾユキウサギなどの小動物の足跡がほとんど見られず、やや寂しい今年の冬。年明け以降降雪が少なかったことに加え、降ってもすぐに解けるか、締め固まるかしてしまうため、足跡が残らないのかもしれませんが。



エゾシカ (塘路湖)

湖上を対岸に向かって駆けていく4頭。足跡もセンター周辺にたくさんついています



キタキツネの足跡 (塘路湖畔)

キツネの足跡も今年は少なめ。姿を見かける機会も例年より少ないように感じます



野ネズミの足跡 (塘路湖畔)

小動物の中でネズミの足跡は比較的好く見えます。向こうからこちらに走ってきたようです

## ◎塘路湖畔で見つけた氷の造形 in2020 冬



## ◎湿原の空に凧揚げ

1月18日、「連凧を作って揚げよう」を開催しました。はじめに今回揚げる凧について説明したあと、凧の用紙に文字やイラストなどを描いてもらい、竹ひごを糊で付けて骨組みをして糸をつけて完成させました。連凧なので2枚の凧が糸でしっかりと繋がっているのを確認してから、塘路湖へ向かい揚げました。風は弱かったようですが、上手く風を捕まえた凧はカラフルな尾とともに青空を背景に揚がりました。

手作りの凧が揚がる様子を見て子供も大人も喜んでいました。

参加者6名



## ◎冬の湿原を歩いて



湖岸にある湧水スポット。  
真冬でもこんこんと水が湧き出てきます

8日、「釧路湿原フィールドウォッチング」を茅沼蝶の森周辺で開催しました。今年の冬は雪が少なくスノーシューを使うか迷いましたが、当日は散策できるくらいの雪があり、近くにあるシラルトロ湖から散策を始めました。湖岸は水辺が所々あり、エゾシカやキタキツネ、タンチョウなどの足跡を観察。しばらく歩くとオジロワシやオオワシの姿が間近に見え、近くにあるハンノキ、ミズナラ、エゾノコリンゴなどの冬越しの様子なども観察しました。行事後半は丘にある炭窯跡や縄文時代の竪穴住居跡を目指して散策。しばらくすると汽笛が聞こえ、S L冬の湿原号をお見送りして行事を終えました。

参加者からオジロワシやオオワシの姿が実際に見られて良かった。湧水があるとは知らなかった。S Lの煙の臭いが懐かしかった。などの感想をいただきました。参加者8名

## 3月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### 塘路フィールドウォッチング

[日 時] 3月7日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### 湿原の裏山でスノーシューハイク

[日 時] 3月1日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで  
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 1/15(6:50,16:12). 1/31(6:39,16:33). 2/14(6:22,16:51)

～編集後記～

■今年は寒暖の差が大きく、冬の北海道観光に訪れた方も驚いていると思います。釧路と標茶間ではS L冬の湿原号が運行し、多くのお客さんと賑わっています。特に鶴の来る駅「茅沼駅」では、こちらも列車と一緒にタンチョウを撮る写真愛好者で賑わっています。特に車で旅行している方は、道路の圧雪アイスバーンやエゾシカの横断にも気を付けてくださいね。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野  
TEL : 015-487-3003 FAX : 015-487-3004

E-mail : emc@hokkai.or.jp

インスタグラム  torokoemc

開館時間：10：00～16：00

(4～10月：17：00まで)

休館日：毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料